



第3回 上尾市かわまちづくり協議会

会 議 録

日 時 令和6年1月17日（水） 午前10時00分から
場 所 平方支所 会議室

<p>10 : 00～</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 議事録署 名人</p> <p>3. 報告</p> <p>(1) (2)</p> <p>4. 議題</p> <p>(1)</p> <p>意見①</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p> <p>委 員</p>	<p>事務局より開会の挨拶、出席者の確認、資料の確認。</p> <p>作山会長より挨拶。</p> <p>作山会長に議長をお願いする。</p> <p>本会議の会議録署名人は、栗原委員、塚越委員の2名に、書記は事務局の岩城主任をお願いする。</p> <p>非公開事項の確認、傍聴人の有無の確認。</p> <p>(1) 第2回上尾市かわまちづくり協議会について、(2) 堤防視察会・ワークショップ・市民コメント・学生提案について、事務局より報告。</p> <p>事務局より議題（1）について、資料3を説明。質疑応答に移る。</p> <p>計画書 P15 内に、シェルターという記載があるが、具体的にどのような整備となるのか？</p> <p>地下に入り込むようなものは構造上難しいため、防災倉庫という形で避難できるような機能を残したいと考えている。</p> <p>堤防内では難しいということであるが、南風や西風に耐えうるような防災倉庫をまち側などでも今後検討してほしい。</p>
--	---

<p>意見②</p> <p>委 員</p>	<p>計画書 P11 内の推進体制について、「平方改良区会」との記載があるが、正しくは「平方土地改良区」であるので修正願いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>修正する。</p>
<p>意見③</p> <p>委 員</p>	<p>計画書 P10 内の表 2、上尾市かわまちづくりにおける市や民間事業者の考え方のどろいんきょ行事に係る記載について、「区長」は「自治会長」に修正、「愛育班」と「子どもの会」を削除いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>修正、削除する。</p>
<p>議 長</p>	<p>同箇所の「市民らによる防災訓練・防災体験」は防災訓練のほか、市民参加で活動しているものはあるのか？特に川沿いならではのものなどがあるのか？</p>
<p>事務局</p>	<p>自治会で防災訓練を実施している。</p>
<p>委 員</p>	<p>自治会で初期消火や AED の使い方など災害に備える活動を行う予定である。</p>

<p>意見④ 議 長</p>	<p>計画内に記載がある「防災倉庫」はどのような使い方を予定しているのか？</p>
<p>事務局</p>	<p>防災倉庫については、自主防災会の組織があることと、平方地区では実際に令和元年台風による水害にあわれた経験があることから、具体的に整備すべき土のう・排水ポンプなどニーズを把握した上で危機管理防災課と連携しながら必要備品等を検討していきたいと考えている。</p>
<p>意見⑤ 議 長</p>	<p>今回計画で堤防ができるとまち側での浸水被害等は軽減されると思うが、E ボートなどは非常時に使えるような訓練を兼ねて、普段のレクリエーションとしても使えると考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和元年では無堤であったため、外水氾濫による被害として捉えられるが、新堤築堤後は内水による被害の可能性があるかなど含めて検討していく。</p>
<p>意見⑥ 委 員</p>	<p>大宮国際カントリークラブのあるところで調節池を作ることで平方付近の荒川の水位が上がるのではないかという話を聞いたが、そのようなことはあるのか？</p>
<p>事務局</p>	<p>囲繞堤ができることにより若干水位が上がる場合があると聞いているが、川の河道掘削や堤防を高くするなど対策すると聞いている。</p>

<p>荒 上</p>	<p>開平橋の下流に荒川第二・第三調整池を整備する予定となっており、現状の堤防が調整池の外側の堤防で、調整池に水を貯めるための囲繞堤を整備する計画で川に堰を設ける予定はない。囲繞堤を整備する関係で水位が上がる場合があるが、河道掘削など対策をしていく。また、自然の状況による水位変動はあるものの、従前の利用に対して調節池の整備による影響はないように配慮しながら計画を進めているところである。</p>
<p>意見⑦ 議 長</p>	<p>堤防の形が見えてきており、魅力的なものを作っていけると良い。上物についてはこれからであるが、本協議会などでも議論しながら検討していけるとよい。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局より資料 4 を説明。</p> <p>坂路中央の階段追加やメイン動線からの動線として最下流の階段を拡げ、自転車の押し歩き対応、歴史的な配慮についても提案している。また、側帯整備に必要となる擁壁についても景観に配慮したイメージとなるような提案をさせていただいている。</p>
<p>意見⑧ 議 長</p>	<p>戸田市では去年から全て有料になっているが、花火は無料なのか？</p>
<p>事務局</p>	<p>現状は無料となっているが、花火自体の価格だけでなく、警備費など運営そのものにかかる費用が高騰している背景があると聞いている。</p>

議 長	<p>これだけ良いものを作るのなら、将来的には一部有料にするとか、例えばデザインされた平方シートをつくるとか、有料でも気持ちよく楽しめるような運営についても今後考えていけると良い。</p>
意見⑨ 委 員	<p>側帯整備については、擁壁を立ち上げるということか？建物が近く圧迫感のあるおそれや崩れるおそれがないか心配している。土盛りでやれないのか？</p>
事務局	<p>本堤は土盛りで構成しており、天端を拡げる側帯整備部についてのみ擁壁を考えている。側帯整備を土盛りのみの腹付けで計画すると民地側へ拡がることとなり、河川区域内で計画できず、また堤脚の道路なども計画できなくなる恐れがある。</p>
議 長	<p>景観面と安全面のふたつの指摘である。景観面については、提案いただいているようなイメージで違和感のないようなものにできるのではないかと考えている。安全面ではブロック積だから崩れる懸念があるとすれば、L 型擁壁や重力式コンクリート擁壁など強固な擁壁にすることも考えられるが、側帯としての土取り役割などをふまえると土をとって復旧できるような擁壁形式とする必要があると聞いたことはある。</p>
荒 上	<p>堤防そのものは土で作るのが基本である。側帯部については、具体的な設計が仕上がっているわけではないので今後の検討となるが、ブロックにするのか擁壁にするのかは地盤との関係もあり、少なくとも滑ったり沈下したりすることのないように構造的な安全性のチェック</p>

	をした上で形式を決定することになる。
オブザーバー	現状、最も厳しい断面での概略検討の段階であるが、議長からご提案いただいたような基礎が大きい形式の擁壁を採用しようとするとう堤防の定規断面といわれる、侵してはいけないラインを侵すこととなるため、ブロック積のような基礎の小さい形式が最適ではないかということで検討を進めている。
議長	前面には道路もあり、建物からはある程度離れていることもある。
オブザーバー	擁壁が崩れたり転倒したりした場合も道路を挟むことで直接民地側に影響があるような位置関係とはなっていない。また景観的にも D/H といった指標があり、道路の幅と沿道の高さの比によって圧迫感が変わってくるが、一般に道幅が広ければ圧迫感は軽減されると考えている。
委員	実際の擁壁の高さはどのくらいなのか？
荒上	天端部分の平場を広げれば広げるほど擁壁は高くなるという関係にあり、利活用に必要となる平場に応じた検討となるが、現計画では概ね 3～5m 程度の高さになると思われる。皆さまのお住まいの地盤高から堤防計画高までが概ね 5m となっているが、道路の計画縦断や地盤高などで箇所毎に擁壁の高さは異なってくる。
議長	圧迫感など景観については、垂直ではないし、下に土の部分があると緩和される。今は抽象的な議論となっているため懸念があると思うが、ビジュアルにみせるとよい。ただ、元々、堤防天端を利活用した

	<p>いという要望がなければ擁壁もないし、ただの堤防法面になる。その意味では、もちろんメリットデメリットがあるが、利活用するための天端平場を拓げるために必要なものなので、圧迫感などのマイナス要素をできるだけ減らしながら新たな魅力をいかに作っていくかということだと思う。</p>
委員	<p>擁壁をつくるなら、フリークライミングとかスポーツの活用、本格的ではなくても子供が登るとかの活用も可能かもしれない。</p>
議長	<p>施設として対応しようとする和管理瑕疵などの問題もいろいろ出てくると思う。推奨はしないが、市民レベルで使う分には色々活用されてもよいかもしれない。例えば、彩湖などではウインドサーフィンが市民レベルで活用されてきたのではなかったと思う。</p>
荒上	<p>彩湖については、自然保全ゾーンなど利活用を禁止したエリアなどもあるが、親水ゾーンなどでは利活用いただくエリアとしている。</p>
意見⑩ 委員	<p>どろいんきょ階段の前などの根固めブロックはそのままとなるのか？例えば舟を浮かべたたり、どろいんきょの川入りするとか防災訓練などで利用するときに邪魔になると思う。</p>
事務局	<p>水位の状況などによるが、利活用に問題があるのであれば、安全性などを確認しながら撤去なども検討する。現状は木工沈床などが水面下にあり、利用できるようになっていると思われる。</p>

議 長	いずれにしても完成後には利活用に合わせて調整を実施していくということによろしいかと思う。
5. その他	
(1)	事務局よりその他(1)について、資料5を説明。質疑応答に移る。
意見①	
委 員	周辺整備というのは、道路の拡幅だけになるのか？ドッグランなどの計画は周辺整備に含まないのか？
事務局	市で整備を行うものとして現状検討しているものは提示したものとなるが、ドッグランなど民間連携を含む部分については、今後検討していきたい。
議 長	学生提案でも、ドッグランは民間活用をイメージしていた。ドッグランカフェもあるし訓練施設もある。戸田市の彩湖・道満グリーンパークでは、ドッグランを整備し人気があるスポットとなっている。戸田市では、公園内ということで公社が運営しているが駐車場の有料化などとあわせて運営しているようである。
意見②	
委 員	民間連携を考えていくということで、駐車場についても今後検討いただきたい。また、回遊性を高めていくという点からは、平方公民館から堤防への道の拡幅なども考えられる。

事務局	地区毎の個別の提案・要望などは、自治会等を通じて、まとめて意見としていただければ、今後検討していきたい。
議 長	決定機関ではないので、地元として意見を出していただくことは良いと思うが、この協議会ではどうしても堤防中心の議論を中心としていっているということである。
5. その他 (2)	事務局よりその他(2)について、資料6を説明。質疑応答に移る。
意見① 委 員	堤防の完成予定について、会議では2030年、回覧などでは未定と相違があるが、どのようになっているか？
荒 上	大枠として2030年完成を目指して事業を進捗していることは変わらないが、用地買収などにより計画通りに必ずしも進むものではないことから、ケースにより臨機応変に対応の上、提示させていただいている次第である。
議 長	予算的な問題があるわけではないか？
荒 上	日本全国で自然災害が多発しており、国土交通省として一律に国土の安全性を高めていくという中で、今回の能登地震のように実際に被害のあった地域などへの手厚さという点では地域差が出てしまう面もあるが、計画を進めていくための予算要求をしていくことに変わりはない。

4. 閉会

～12:00

嶋田副会長より閉会の言葉

以上

●会議写真

